

学校法人 暁 学園



暁学園公式キャラクター  
アルバちゃん

# AKATSUKI

## Newsletter vol.264

四日市大学 / 四日市看護医療大学 / 暁高等学校 /  
暁中学校・高等学校 / 暁小学校 / 暁幼稚園

発見は、  
想像の  
向こうにある。

暁学園報 2026 SUMMER

TOPIC

新年度のメッセージ  
各校トピックス  
卒業生の進路状況





## 「人間たれ」 学園80年の礎

暁学園 理事長

喜岡 渉

「人間たれ」は、本学園の設立趣意を体現する建学の精神であり、1950年に学園綱領として制定されて以来、幼稚園から大学まで全6校種に共通する教育理念として受け継がれてきました。

この言葉を学園綱領に掲げるにあたり、初代学園長・五嶋孝吉先生は次のように述べられています。「極めて優れた才能を持ち、正義感を持った人であっても、愛がなかったら全ては空しいものです。どのように科学が発達し、文化文明が成熟しても、その愛がなかったらそれは空虚で無意味なものでもありません。」このメッセージは今日、「人を愛し、学問を愛し、美を愛する豊かな人間」という言葉で広く解釈され、全校種における教育実践の指針となっています。

この学園綱領は、変化の激しい現代社会においても揺るがない普遍的な理念であり、学園全体の教育の根幹として次のように息づいています。幼稚園では、人間教育を基盤に、挑戦と失敗を通して考え、工夫し、仲間と協力して乗り越える「愉しさ」を育みます。小学校では、急速に変化する社会を生き抜くため、確かな学力・豊かな心・健やかな体をバランスよく育成する教育を重視しています。中高では、

未来を受け入れるのではなく自ら切り拓く力としての「本物の学力」を追求し、高校では、生徒を若き大人として尊重し、自ら判断し行動する自立心を育てる教育を行っています。四日市大学では、一人ひとりの可能性を見つめ、社会で柔軟に学びを活かす創造性を涵養する教育を、四日市看護医療大学では、人間重視を根幹に、豊かな人間性と高度な専門性を備えた看護医療専門職の育成を目指す教育を進めています。

80周年は、建学の精神ともいべき学園綱領「人間たれ」を、暁学園に関わるすべての人が改めて確認し、思いの一つにする貴重な機会です。暁学園がこれからも地域に選ばれる学校として輝き続けるためには、6校種の構成員が建学の精神を共有し、人としてのやさしさをもって主体的に判断し行動する力を発揮することが何より重要です。持続可能な高度情報社会の創り手として、創造力、論理的思考力、集中力・粘り強さ、表現力、コミュニケーション能力といった人間の強みを、それぞれ校種の個性に応じて身に付け、これからの社会に真に求められる人としての役割を果たしていくことを期待しています。

## 変化する時代に応える大学へ— 社会情報学部への改編—

本学は1988年、学校法人暁学園と四日市市の公私協力により、経済学部だけの単科大学として開学し、「人間たれ」を理念に掲げ、地域貢献型大学として発展してきました。1997年には環境情報学部、2001年には総合政策学部を設置し、現在は2学部体制のもと、卒業生は1万650名に達しています。

人新世と呼ばれる現代においては、気候変動をはじめとする複雑な課題への対応に、分野横断的な総合知が不可欠です。本学では両学部の強みを融合し、学園創立80周年を機に、社会情報学部(環境情報学科・総合政策学科)への改編を予定しています。これにより、1学部2学科体制のもと、これまで以上に柔軟で横断的な学びを提供する大学へと進化します。

なお、本改編は2028年度新入生を対象としたものであり、在学生の履修や卒業に影響はありません。現行カリキュラムは卒業まで継続され、授業開講や卒業要件にも変更はありません。加えて、少人数教育やPBL(課題解決型学習)の一層の充実を図るとともに、新学部で導入予定の分野横断型クラスター履修についても、現行カリキュラムの中で先行的に取り入れ、学びの質のさらなる向上を目指してまいります。

四日市大学 学長

喜岡 渉

## 実学としての看護学・臨床検査学



四日市看護医療大学 学長

柴田 英治

実学という言葉聞く機会はそれほど多くはありませんが、本学で学ぶ看護学・臨床検査学は医療の現場で役立つことを主眼とした実学です。もともと医療は病める人、痛みを訴える人、怪我をした人たちを何とか救わなければならないという必要に迫られて発達してきました。理屈は二の次、とにかく目の前の必要性に応えることを第一に看護・臨床検査などの医療は行われてきたのです。現実社会に適用できることを重視するという意味では他にも工学、商学、経済学、法学などが実学とされています。

しかし、次第に現場で役に立つことだけを考えていたのでは不十分で、一見看護学・臨床検査学と直接関係がないと思われる分野の学問にも触れ、総合的な知性をもった人材が育たなければ看護学・臨床検査学そのものも発展しないことがわかってきました。大学で学ぶということは実学である看護医療学を身につけるとともに、リベラルアーツとも呼ばれる幅広い学問分野への視野を備えた教養人になることでもあります。大学での学びを進める意味や心構えを改めて考えてみることも大切ではないでしょうか。

## 新年度のはじまりにあたって

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。在校生の皆さんも、それぞれ新たな学年のスタートを迎えました。そして保護者の皆さまにおかれましては、日頃より本校の教育活動にご理解とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。あわせて、本校を進学先としてお選びいただきましたことに、深く御礼申し上げます。

本校では、生徒一人ひとりを大人として尊重し、自ら考え、判断し、行動できる力を育むことを目指し、日々の教育活動に取り組んでいます。また、「自分の命は自分で守る」という意識を持ち、主体的に日々を生きる姿勢を身につけてほしいと願っています。

変化の激しい時代にあっては、正解のない問いに向き合う力が求められます。失敗を恐れず挑戦を重ね、自分なりの答えを見つけていくことが成長につながります。本年度も、実り多い一年となるよう取り組んでまいります。どうぞよろしくお願いいたします。



暁高等学校 校長

生駒 裕

## 不易と流行



暁中学校・高等学校 校長

高木 達成

「不易流行」は、松尾芭蕉が説いたとされる考え方です。普遍的な価値を大切にしつつ、価値を追求する手立てや考え方等は時代に合わせて変化し続けるという意味です。学園の「不易」は、「人間たれ」です。暁学園は、本年度で設立八十年、その間、社会や経済、学校教育等、多くの事柄が時の流れと共に変化してきました。その変化に惑わされて「不易」を見失うことが一番危険であると思います。登山に例えるなら、「不易」は、目指す頂き、「流行」は、登山ルートです。時間はかかるが安全なルートを選ぶ者、未踏のルートを開拓しようとする者…。人それぞれですが「人間たれ」という頂を目指すことは共通です。どのルートをとるにしても、登るための基礎体力、知識技能、装備が必要です。学校での学びで、それらは何に当てはまるでしょうか？皆さんが、しっかりと考え、身に付ける努力を続けて、「人間たれ」に到達されることを心から期待しています。

## 縦のつながりを大切に

毎年、本校では4月末に遠足を行っており、今年度は1・2年生が霞ゆめくじら公園へ、3年生以上がとだがわこどもランドへ出かけました。遠足は、自然体験や校外における集団活動を通して、児童相互の触れ合いを深めることを目的に取り組んでいます。本校では、異学年グループを作り、それぞれのグループが協力して先生方が考えたゲームに挑戦しながらウォークラリーを行い、最後に写真撮影をして終了となります。各グループでは、下学年の子どもたちが楽しめるようにと、上学年の子どもたちが声をかけたり、一緒に取り組んだり、和気あいあいとした光景があちらこちらで見られます。子どもたちが毎日綴る「あゆむすがた」には、楽しい時間を共に過ごした思い出とともに、思いやりや感謝の気持ちが多くつづられています。子どもたちの関わりが弱くなったと言われる今の時代だからこそ、こうした縦のつながりを今後も意図的に創っていきたくと考えています。



暁小学校 校長

あきら

馬 哲

## ダンゴムシはリンゴを食べるの？



暁幼稚園 園長

近藤 まり

ある日、年長組の子どもたちが園庭で何やら一生懸命探し物をしていました。近づいて行ってみると「先生、ダンゴムシはリンゴを食べるの？」と尋ねられました。実は、月刊誌に「ダンゴムシはリンゴを食べる」と載っていたのを見て、本当なのか確かめてみたくなり、クラスみんなでダンゴムシを探していたのだそうです。

子どもたちは、今までに、ダンゴムシを何度も飼ったことがありましたが、ダンゴムシの餌といえば「枯れ葉」と思い込んでいたようです。しかし、自分たちが当たり前に行ってきたこととは違う情報に触れ、「本当にそうなのかな？」と疑問を抱いたのでしょう。ダンゴムシを見つけた子どもたちは、早速、薄くスライスしたリンゴを虫かごに入れていました。

暁幼稚園では、子どもが遊びの中で発見したり疑問に思ったりしたことを、なかまとともに確かめ合いながら、一つ一つ丁寧に解決しようと教育活動を進めています。これからの社会を担う大切な子どもたちに、幼児期から探究する力や学びに向かう力を遊びの中で身につけていきたいと考えています。そして、園での生活がわくわくドキドキする毎日になって欲しいと願っています。

# 四日市大学

## 2025年度海外語学研修を実施（フィリピン・セブ島）

2月8日(日)から21日(土)まで、フィリピン・セブ島にて「2025年度海外語学研修」を実施し、環境情報学部および総合政策学部の学生が参加しました。現地の語学学校では、マンツーマンレッスンやグループレッスンを通して、2週間にわたり集中的に英語を学びました。また、授業外においても、近隣のモールでの買い物やコインランドリーの利用など、英語を使いながら現地での日常生活を経験し、実践的なコミュニケーション力を養いました。

週末には、SDGsフィールドワークとしてゴミ山の見学を行った後、山村集落を訪問しました。山村集落では、折り紙やビー玉遊び、水引作りなど日本文化を紹介しながら、現地の子どもたちとの交流を深

めました。学生たちにとって、言葉や文化の違いを越えた交流は、多様な価値観や異文化への理解を深める貴重な機会となったようです。

本研修は、英語力の向上のみならず、海外での生活や交流を通して視野を広げる機会となりました。四日市大学では、今後もこうした海外語学研修のような取り組みを通して、多様な学びを深める機会を継続的に設けていきたいと考えています。



# 四日市看護医療大学

## 「四日市市の暮らしと文化」森智広市長による講義を実施



4月9日(木)5限目、「四日市市の暮らしと文化」の授業において、四日市市の森智広市長が看護学科1年生115人を対象に第1回「四日市市の政策について」の講義を行いました。

本授業は、四日市市の歴史や医療の現状・課題を学ぶとともに、それらを踏まえて地域の特色について理解を深めることを目的としています。

今回の講義では、市の産業や歴史の概要に触れたうえで、再開発事業について「歩いて楽しめるまち

づくりを進めている」と説明し、市の具体的な取り組みが紹介されました。さらに森市長ご自身の学生時代のエピソードも交えながら、「大学4年間は貴重な時間。学業以外でも多くの体験をして豊かな人間性を育ててもらいたい。」と学生へエールが送られました。

本授業は全8回で構成されており、学生は柴田英治学長や四日市市の職員からも講義を受けました。



## 「みらいホール」を開設!

令和8年4月1日から旧四日市大学3号館を本学の管理へ移行し、「みらいホール」と改称しました。本施設は、従前の照明や内装設備をリニューアルして、学生がより集中して学修に取り組める明るく快適な空間へと生まれ変わりました。国家試験対策講座や各種授業での活用に加え、ガイダンスや式典など幅広い用途での利用を予定しており、学生の学びを支える重要な拠点となります。

今後も本学では、本施設の活用を通じて教育環境のさらなる充実を図り、学生一人ひとりの成長を支援してまいります。



# 暁高等学校

## 『土曜アクティビティ「サタ活～人間たれ～」』始まる！

令和8年度より、本校では土曜日の学びを充実させる新たな取り組みとして、「土曜アクティビティ『サタ活～人間たれ～』」を開始しました。本プログラムは、生徒一人ひとりが自ら考え、主体的に参加する新しい学びの形です。校内教員や外部講師による探究活動・教養講座、クラブ活動に加え、地域での活動や自宅学習など、生徒の興味・関心や学習進度に応じて、多様な選択ができる内容となっています。「サタ活」は、生徒の主体性を尊重するとともに、「時間の使い方を自ら考え、自律的に学ぶ力を育てること」を目的としています。土曜日を有効に活用し、学力向上や進路実現へとつなげていくことを目指し、学校としても継続的に支援してまいります。

4月18日および5月2日には、さまざまな講座が開講されました。英検対策講座や世界遺産検定講座を

はじめ、「ちょっと楽しい科学実験」では大きなシャボン玉を作るための工夫についてグループで話し合いながら実験に取り組みました。自ら選択した学びに主体的に向き合う生徒たちの表情は、普段の授業とはひと味違い、生き生きとしていたのが印象的でした。また、教員にとっても新たな気づきや学びのある時間となりました。



### ■4/18・5/2開催の『サタ活』の講座内容(抜粋)

英検2級 BREAK THROUGH

英検準2級 START UP

教科書で扱っていない単元の学習(数学)

大学入試口頭試問対策講座

三重大に入ろうね会

有機化合物の命名と分類

ちょいむず因数分解にチャレンジ!

パーソナルスタディールーム

クラブ活動

アルバちゃん和フォト・ウォーキング

ちょっと楽しい科学実験(大きなシャボン玉)

アトリエルーム

世界遺産検定 3級対策

音楽初心者のための『楽譜のトリセツ』

演劇の台本を読んでみよう

SA(スクールアシスタント)スタートガイダンス

Englishホットラウンジ

自宅学習



# 暁高等学校

## バドミントン部 宮岡孝丞さんが日本代表選手に選出！

この度、本校バドミントン部所属の3年生宮岡孝丞さんが、「アジア太平洋デフ・マルチスポーツ選手大会」日本代表選手に選出されました。

宮岡さんは小学校3年生からバドミントンに打ち込み、これまで競技を継続しながら努力を積み重ねてきました。高校入学後も、日々の練習に真摯に取り組み、着実に実力を伸ばしています。

現在は、高体連の大会や日々の部活動に励む一方で、デフバドミントンの大会や強化合宿にも参加しており、競技活動を両立させながら高い目標に向かって努力を続けています。

学業との両立もあり、限られた時間の中でも、自

分自身で目標を定め、仲間と切磋琢磨しながら競技に向き合う姿は、多くの生徒にとって大きな刺激となっています。

先日の三重県高校総体では団体戦の準優勝に貢献し、高体連の大会は一つの区切りとなりましたが、10月3日から10月10日にかけて、マレーシアのパナで開催されるアジア太平洋デフ・マルチスポーツ選手権大会の出場を予定しています。本人も「今後は国内大会だけでなく、海外にも目を向け頑張っていきたい」と新たな目標に向かって意欲を見せています。今後とも応援をよろしく願います。



# 暁中学校・高等学校

## 5年生 北海道修学旅行を実施！

### 修学旅行を通して学んだこと

5C 伊藤 奏詩

今回の修学旅行は、教科書では分からない学びを得るとともに、仲間との交流を深める貴重な機会となりました。普段できない経験をたくさんすることができ、大切な思い出になりました。

特に印象に残っているのは、植松電機の植松努社長のお話とロケット製作、そして空知川でのラフティング体験です。植松さんの講話では、夢や目標があるなら諦めないこと、自分を信じること、そして信じて

くれる人を信じる大切さを教えてもらいました。自分たちのロケットを飛ばした時の感動は、今でも忘れられません。

ラフティング体験では、空知川をボートで下る際に仲間と息を合わせる必要があり、一致団結して協力する意義や信頼関係を学びました。北海道で学んだどの体験も、今後の考え方や行動が変わるきっかけになったと感じています。

最後に、この修学旅行を通して、仲間と行動する楽しさや時間管理の難しさ、そして集団行動の大切さを実感しました。これらをこれからの生活に活かしていきたいです。



# 暁小学校

## ランドセルがわんパック(ランリュック)に変わりました

暁小学校では、今年度入学の1年生より、通学かばんを従来のランドセルから mont・bell 社の「わんパック(ランリュック)」へ変更いたしました。

一般的なランドセルの重さは 1,100~1,300g とされていますが、児童の負担を少しでも軽減することを目的に、以前より見直しを進めてまいりました。

今回採用した「わんパック」は 1,010g と軽量で、デザインもスタイリッシュです。費用面においても、保護者様のご負担が比較的少ない点が特徴です。

また、2年生以上でも、わんパックへ変更する児童が増えてきています。

子どもたちにとって、毎日使う通学かばんが“お気に入りの一つ”となり、より楽しく学校生活を送るきっかけになればと願っております。



## 春の遠足

4月28日(火)、春の遠足を実施いたしました。昨年度は天候不良により延期が続き、残念ながら実施できませんでしたが、今年は2年ぶりの開催となり、児童はこの日を心待ちにしていました。

1・2年生は四日市市の「ゆめくじら公園」へ、3~6年生は名古屋市の「戸田川緑地公園」へ出かけました。午前中は、どちらの学年も縦割り班に分かれてウォークラリーに取り組みました。縦割り班にすることで、学年を超え子ども達が仲良くなってもらいたいと願っています。

お昼には、持参したお弁当をおいしくいただき、午後は遊具などで思い切り遊ぶ時間となりました。お天気にも恵まれ、児童にとって大変楽しい1日となりました。

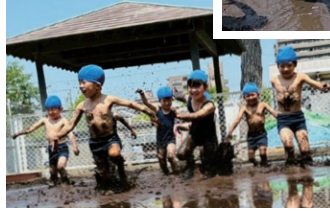


# 暁幼稚園

## 暁名物「泥んこ遊び」

「きゃー、きゃー」「わー、足が抜けないよ」「速く走れないよ」「土が重たいね」「気持ちいいね」「ぬるぬるしてるよ」「お風呂みたいにあっついね」「こっちは冷たいよ」「おだんごを作ってみようか」「お化けだぞー」

5月18日、19日に、暁幼稚園恒例「泥んこ遊び」を行いました。田植え前の水を入れた田んぼで、それぞれが自分なりの方法で黒土(泥)の感触を楽しみました。年少組の子どもたちにとっては初めての経験でした。入りたくないと行って田んぼの周りを歩いている子やぬるっとした泥の上で滑って尻もちをつく子、先生に手を引いてもらいながら恐る恐る入ろうとする子、最初からうれしそうに泥の中へ入っていく子など、様々な姿を見せてくれました。年長組は3回目。今までの経験が生かされているのか、動じる



ことなく自分から足を踏み入れ、お互いの背中に泥を塗り合ったり、手をつないで走ったり、みんなで丸くなってお風呂のようにずっと座っていたりしていました。

暁幼稚園では、様々な場面で自然と触れ合いながら、本物を観たり聴いたり実際に体験したりしていく中で、子どもたちが発見したこと、感じたこと、不思議に思ったことなどを自分のことばで生き生きと表現する活動を大切にしています。感じ方は一人ひとり違います。違いを認め合いながら、自分の考えと友だちの考えを比べながら聴くことで学び合い、思考力・判断力・創造力が育っていかれることを願っています。



## 四日市大学

就職率

99.3%

就職先満足率

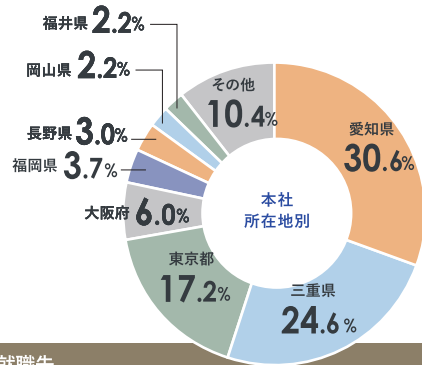
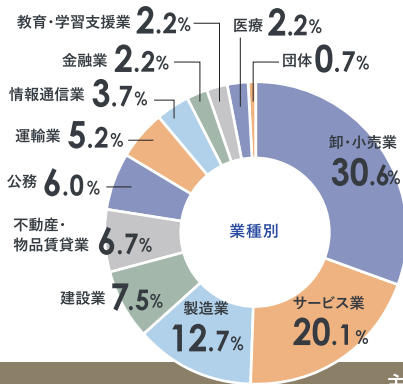
87.4%

2026年3月卒業生の就職率は、総合政策学部が99.0%、環境情報学部が100%、全体で99.3%となり、全国大卒就職率98.0%、県内大卒就職率95.2%を上回る高水準を維持することができました。また、就職先満足度アンケートの結果、87.4%が満足と回答しています。これらの結果は学生たちが自分の進路についてしっかり考え、努力を積み上げ取り組んだ成果です。

業種別では卸小売業、サービス業、製造業への就職が約60%、本社所在地別では愛知県、三重県本社企業への就職が約半数を占める結果となりました。

本学では職業観や就労感の醸成のため1年次からキャリア教育の授業を実施し、キャリアサポートセンターが実施する就職活動支援と連携させ、卒業後の社会での活躍を見据えた人材育成に取り組んでいます。

近年就職活動の早期化が進み、人材獲得競争が激化するなか、就活ルールは形骸化している状況です。早期化・長期化状況下で納得できる進路実現を目指す学生のために、引き続き学生一人ひとりと丁寧に向き合い寄り添い、社会において長期的に活躍できる人材となれるようサポートを続けていきます。



主な就職先

## 卸・小売業

トヨタモビリティパーツ(株)/サントリービバレッジソリューション(株)/(株)カインズ/DCM(株)/(株)スギ薬局/三昌物産(株)/東海物産(株)/(株)一号館/(株)レッドバロン/三重いすゞ自動車(株)

## 建設業

(株)東産業/トヨタホーム愛知(株)/MED Communications(株)

## 製造業

イビデン(株)/大同特殊鋼(株)/(株)日本サンガリアペパレッジカンパニー/(株)ヒサダ/(株)FTS/(株)フレザン

## サービス業

コカ・コーラボトラーズジャパンベンディング(株)/三菱自動車エンジニアリング(株)/三重北農業協同組合/(株)エステム/日鉄環境エネルギーサービス(株)/イセット(株)

## 不動産・物品賃貸業

日建リース工業(株)/(株)アドキャスト/朝日土地建物(株)

## 運輸業

(一社)日本貨物検数協会/東京エムケイ(株)/(株)名古屋ニチレイサービス

## 公務

小諸市役所/関ヶ原町役場/長野県警察本部/四日市市消防本部/名古屋市消防局

## その他

サービス&セキュリティ(株)  
桑名三重信用金庫  
いちい信用金庫  
(株)鳥羽水族館  
(一財)近畿健康管理センター  
(独)国立病院機構  
(公財)四日市市文化まちづくり財団

## 四日市看護医療大学

看護学科  
(2026年3月卒業生)就職  
希望者

111名

就職  
決定者

109名

うち四日市市内の  
医療機関等 44名

都道府県	医療機関等
三重県	市立四日市病院、三重県立総合医療センター、桑名市総合医療センター、三重大学医学部附属病院、済生会松阪総合病院、JA三重厚生連 松阪中央総合病院、JA三重厚生連 鈴鹿中央総合病院、JA三重厚生連 鈴鹿厚生病院、伊勢赤十字病院、総合診療センター ひなが、四日市羽津医療センター、亀山市立医療センター、三重中央医療センター、みたき総合病院、四日市消化器病センター、菟野町社会福祉協議会、鈴鹿回生病院、三重ハートセンター、大仲さつき病院
愛知県	藤田医科大学病院、藤田医科大学 岡崎医療センター、藤田医科大学ばんだね病院、鈴木病院、名古屋市立大学医学部附属 東部医療センター、名古屋医療センター、名城病院、一宮西病院、JA愛知厚生連 海南病院、日本赤十字社愛知医療センター 名古屋第一病院、トヨタ記念病院、愛知県がんセンター、国立長寿医療研究センター、あいち小児保健医療総合センター
岐阜県	高山赤十字病院、岐阜県総合医療センター、大垣市民病院
静岡県	浜松医療センター
大阪府	大阪母子医療センター
東京都	タムスさくら病院江戸川

臨床検査学科  
(2026年3月卒業生)就職  
希望者

38名

就職  
決定者

38名

※進学希望・決定者 2名  
(四日市看護医療大学大学院、  
京都保健衛生専門学校)

都道府県	医療機関等
三重県	村瀬病院、JA三重厚生連、済生会松阪総合病院、富田浜病院、桜木記念病院、三重県庁、みたき総合病院、鈴鹿回生病院、済生会松阪市民病院、万協製薬、みたき健診クリニック、メディック 桑名ラボ
愛知県	知多半島総合医療機構、JA愛知厚生連 安城更生病院、JA愛知厚生連 福沢厚生病院、大名古屋ビルセントラルクリニック、JA愛知厚生連 海南病院、西尾市民病院、大同病院、三河安城クリニック、日本赤十字社愛知医療センター名古屋第二病院、医療法人オリエタルクリニック、メディック名古屋ラボ
岐阜県	大垣市民病院、東海細胞研究所、メディック
静岡県	TTC、市立湖西病院、共立蒲原総合病院、JA静岡厚生連 清水厚生病院、伊豆赤十字病院
滋賀県	近畿予防医学研究所、近畿健康管理センター、滋賀病院

## 国家試験状況

看護師 **99.1%** (受験者111名/合格者110名)    保健師 **86%** (受験者50名/合格者43名)    助産師 **100%** (受験者8名/合格者8名)    臨床検査技師 **92.3%** (受験者39名/合格者36名)

## 全体状況

就職支援として、学生主体的な就職活動に向けて、3年次より就職支援講座、「就活準備」、「履歴書作成」、「面接」を実施しています。

国家試験試験対策として、国家試験の全員合格を目標に、模擬試験、国試対策講座を実施しています。

# 暁高等学校

名古屋大学・金沢大学・三重大学・信州大学などの国公立大学に多数合格！

早稲田大学・関西学院大学・同志社大学などの難関私立大学にも多数合格しました！

2025年度卒業生の進路状況は、四年制大学進学が82%、短期大学3%、専門学校11%、就職1%、再受験・その他3%となりました。多くの生徒が大学進学を実現しています。

国公立大学では、地元の三重大学をはじめ、全国各地の大学へ進学するなど、幅広い進路を切り拓きました。私立大学では、名城大学15名、中京大学12名、南山大学9名をはじめ、東海地区を中心に、関西・関東の難関大学にも多数合格しています。

また、併設校である四日市大学・四日市看護医療大学には、合わせて16名が合格しました。さらに、昨年度は中部大学・金城学院大学・名古屋学院大学、本年度は椋山女子学園大学と高大連携協定を締結し、特別協定校推薦入試の実施や出張講義などを通して、生徒一人ひとりの進路選択を支援しています。

今後も、生徒の進路実現に向けて、学年団・進路指導部が連携し、きめ細かなサポートを行ってまいります。

名古屋大学(医・看護)、金沢大学(理工)、三重大学(教育2名・人文・工)、  
信州大学(農・繊維)、滋賀大学(教育)など

国公立大学 合格 **17**名(名古屋大学1名、三重大学4名含む)

関関同立・南山大学 合格 **17**名 四日市看護医療大学 合格 **15**名

## 主な実績

### 国公立大学 合計17名

金沢	1	三重	4	釧路公立	1
福井	1	滋賀	1	静岡県立	1
信州	2	和歌山	2	三重県立看護	1
名古屋	1	鳴門教育	1	山口県立	1

### 短期大学 合計8名

津市立三重大学短期大学	1	ユマニテック短期大学	1
愛知学院大学短期大学部	2	高田短期大学	1
名古屋短期大学	1	京都外国語短期大学	1
名古屋文化短期大学	1		

### 専門学校 合計25名

ENDLESS ACADEMY	1	ユマニテック医療福祉大専校	1
HAL名古屋校	4	中日美容	1
ミエヘアアーティストアカデミー	3	名古屋ウェディング&ブライダル専門	2
愛知文化服装専門	1	名古屋ビューティーアート専門	1
伊勢志摩リハビリテーション	1	名古屋デザイナー学院専門	1
大阪病院附属看護専門学校	1	名古屋モード学園	1
東京法律公務員専門	1	名古屋ユマニテック歯科衛生専門	2
名古屋ウェディング&ブライダルビューティ学院	1	名古屋医専	1
履正社国際医療スポーツ専門	1	名古屋未来工科専門学校	1

### 私立大学 合計300名

東京女子体育	1	名城	15
日本	1	愛知みずほ	2
日本女子体育	2	東海学園	11
日本体育	1	桜花学園	1
早稲田	1	人間環境	5
金沢工業	3	愛知東邦	1
金沢学院	1	皇学館	9
岐阜聖徳学園	1	鈴鹿医療科学	12
日本赤十字豊田看護	1	鈴鹿	1
名古屋学芸	8	四日市	1
愛知	9	四日市看護医療	15
愛知学院	17	京都外国語	1
愛知工業	16	京都産業	9
愛知淑徳	17	京都精華	1
金城学院	20	同志社	3
椋山女子学園	7	立命館	1
大同	13	龍谷	3
中京	12	大阪人間科学	1
至学館	1	大阪産業	1
中部	14	大阪体育	1
名古屋音楽	1	大阪商業	1
名古屋外国語	5	追手門学院	1
名古屋学院	11	関西	1
名古屋芸術	5	近畿	2
名古屋商科	3	四天王寺	1
名古屋薬	3	摂南	3
名古屋造形	1	帝塚山学院	1
藤田医科	1	関西福祉科学	1
南山	9	関西学院	3
日本福祉	6	武庫川女子	1

※既卒者含む

# 暁中学校・高等学校

京都大学・大阪大学・北海道大学・名古屋大学・神戸大学に**8名合格!**

医学部医学科(国公立大学・私立大学)に**13名合格!**

▶ 昨年度(6名)から**倍増!**

生徒110名全員が「受験勉強の成功」を目標に最終学年がスタートしました。国公立大学に延べ40名合格したことから学年団教員と生徒たちとの絶妙の距離感そして盤石の信頼関係のもと、目標実現に向けて共に頑張り抜くことができました。放課後の教室や進路指導自習室で完全下校直前まで残って勉強する姿、足繫く教員に質問して入試問題を自力で解答できるように必死に努力する姿に応えるべく「生徒たちの進路実現のために」という思いでサポートして参りました。

国公立大学後期日程試験(3月12日)あるいは私立大学後期試験(3月実施)を受験し、最後の最後まで頑張り抜きました。総合型選抜・学校推薦型選抜・一般選抜の受験種別や受験可否の結果にかかわらず、「受験勉強」を通して、自分と真剣に向き合い、自分に磨きかけた貴重な経験は生徒たちにとって、人生の貴重な財産となったと確信しています。この姿勢を今年度以降も暁中学校・高等学校(6年制)の伝統・スピリットとして受け継がせていきたいです。

## 主な実績

京都大学(工)、大阪大学(医・保健-看護)、北海道大学(文、総合理系)  
名古屋大学(工、情報、医・保健-作業療法)、神戸大学(経済)など

三重大学 合格**6名**(医学科1名含む) 鹿児島大学(医学科) 合格**1名**  
名古屋市立大学(医学科) 合格**1名**

早稲田大学・慶應義塾大学・上智大学・東京理科大学 合格**15名**  
MARCH・関関同立・南山大学 合格**49名**

▶ 昨年度(13名)から**2名増!**



### 国公立大学 合計47名

京都	1	筑波	1	宮崎	2	静岡文化芸術	2
大阪	1	東京海洋	1	鹿児島	1	愛知県立	1
神戸	1	富山	2	秋田県立	3	名古屋市立	1
名古屋	3	信州	1	高崎経済	3	滋賀県立	1
北海道	2	静岡	2	新潟県立	1	公立鳥取環境	4
三重	6	名古屋工業	3	福井県立	1		
室蘭工業	1	滋賀	1	長野	1		

### 医学部医学科 合計13名

三重	1
鹿児島	1
名古屋市立	1
愛知医科	2
藤田医科	3
杏林	2
埼玉医科	1
兵庫医科	1
川崎医科	1

### 私立大学 合計266名

早稲田	8	立命館	14	東海	2	愛知学院	6	日本福祉	1	追手門学院	2
慶應義塾	2	南山	6	東京農業	1	愛知医科	2	東海学園	1	関西外国語	1
上智	1	奥羽	1	日本女子	1	愛知工業	5	人間環境	1	近畿	17
東京理科	4	埼玉医科	1	岡山理科	1	愛知淑徳	7	名城	20	摂南	2
明治	3	日本薬科	1	金沢工業	1	金城学院	3	鈴鹿医療科学	8	神戸女学院	1
青山学院	2	城西国際	2	松本歯科	3	大同	5	四日市看護医療	7	兵庫医科	1
立教	2	北里	1	岐阜協立	1	中京	18	京都産業	6	川崎医科	1
中央	2	杏林	2	朝日	2	中部	6	京都芸術	1	岡山理科	2
法政	3	芝浦工業	1	岐阜聖徳学園	1	豊田工業	1	同志社女子	2		
関西	2	昭和医科	1	中京学院	1	名古屋外国語	2	龍谷	24		
関西学院	4	聖心女子	1	修文	1	名古屋芸術	5	大阪学院	1		
同志社	11	拓殖	1	愛知	8	藤田医科	7	大阪産業	1		

### 専門学校合計1名

エマニテック医療福祉…1

※既卒者含む